

2.5. 研究室ローテーション

グリーンアジアコース生には、通常コースでの修士課程に相当する一貫制博士課程前期の2年の間に、学習・研究活動の一環として研究室ローテーションを課している(図2-11)。これは本来の所属研究室(主専攻)とは異なる2か所の研究室で、それぞれ3か月程度の研究活動を行うものである。一般の修士課程とは大きく異なるこの制度は、主専攻とは異なる分野での研究を通じて、プログラムが目標とする広い分野の専門知識とその問題解決の方法論を習得することに主眼を置いている。そのためコース生が行先研究室を選定するにあたっては、自分の所属する専攻・専門分野とは異なる分野の研究室を選択することが強く推奨されている。表2-15に1期生(平成24年度入コース)及び2期生(平成25年度入コース)が行った研究室ローテーションの実施状況をまとめた。多くの学生が(自分の主専攻とは緩やかな関連性を持ちつつも)異なる専門の研究室を選択している。特に、理系の学生でありながら社会系(国際政治学)や環境系(環境・遺産マネジメント)の研究室を選択した学生も複数おり、コース生たちがプログラムの主旨に理解・同意し、この制度を活用して積極的に知識と経験を得ようとしてくれていることは、運営側として嬉しい限りである。

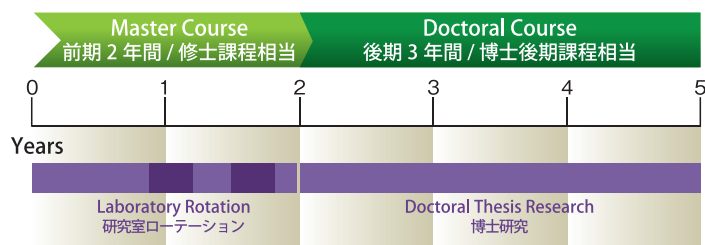


図2-11. グリーンアジアコース生に課される研究活動のスケジュール

表2-15. 1期生と2期生の研究室ローテーション実施状況

氏名 (期)	I 研究室(専攻等)期間	II 研究室(専攻等)期間	III(主専攻) 研究室(専攻等)
赤嶺大志 (1)	非線形物性学(量子) H25.1-3	材料強度学(工学) H25.10-H26.1	結晶物性工学(量子)
儀間弘樹 (1)	結晶物性工学(量子) H25.1-5	表面物質学(物質) H25.11-H26.2	量子材料物性学(量子)
花田尊徳 (1)	表面物質学(物質) H25.1-3	先端機能デバイス(量子) H25.10-12	量子材料物性学(量子)
佐藤 幹 (1)	熱環境システム(環境) H25.3-6	国際政治学(GA) H25.10-12	都市建築環境工学(環境)
正木悠聖 (1)	資源処理・環境修復工学 (資源) H25.7-11	機能無機材料工学(物質) H25.3-7	資源処理・環境修復工学(資源)
松本親樹 (1)	資源処理・環境修復工学 (資源) H25.1-4	エネルギー資源工学(資源) H25.9-H26.1	岩盤開発・機械システム工学(資源)
楯崎 優 (2)	機能分子工学(量子) H26.5-8	高分子材料物性学(物質) H26.9-12	分子物質化学(理学)
滝沢里奈 (2)	ナノマテリアル化学(量子) H26.7-10	結晶塑性学(工学) H26.10-12	結晶物性工学(量子)

田邊和大 (2)	高分子材料物性学(物質) H26.8-11	先端機能デバイス(量子) H26.10-12	光エレクトロニクス (量子)
張 建勲 (2)	熱エネルギー変換システム学(環境) H26.5-8	化学反応工学(量子) H26.10-12	素子材料工学(量子)
米田亮太 (2)	先端機能デバイス(量子) H26.3-9	国際政治学(GA) H26.10-12	フォトニックシステム(量子)
濱田夏彦 (2)	国際政治学(GA) H26.8-12	電離反応工学(量子) H26.10-12	高エネルギープラズマ力学(先端)
田中雅仁 (2)	資源処理・環境修復工学(資源) H26.4-6	無機生物圏地球科学(理学) H26.4-6	資源処理・環境修復工学(資源)
Anis Syazwani Binti Shuhaimi (2)	環境・遺産マネジメント(芸術工学) H26.5-8	熱エネルギー変換システム学(環境) H26.10-12	化学反応工学(量子)
Zayda Faizah Zahara (2)	国際政治学(GA) H26.7-11	機能無機材料工学(物質) H26.12-H27.3	化学反応工学(量子)
Tarek Mahmoud Atia Mostafa (2)	機能無機材料工学(物質) H26.6-10	フォトニックシステム(量子)	量子材料物性学(量子)
Ryan Imansyah (2)	高分子材料物性学(物質) H26.6-9	先端機能デバイス(量子) H26.10-12	光エレクトロニクス(量子)
Azizah Intan Pangesty (2)	高分子材料物性学(物質) H26.1-H27.3	有機合成化学(GA) H26.10-12	先端材料強度学(物質)
Pennapa Tungjiratthitikan (2)	反応創造化学(物質) H26.8-10	分子計測学(物質) H27.2-	有機合成化学(GA)
Khanam Marzia (2)	熱環境システム(環境) H26.5-8	化学反応工学(量子) H26.11-H27.1	熱エネルギー変換システム学(環境)
Pal Animesh (2)	化学反応工学(量子) H26.5-8	素子材料工学(量子) H26.12-H27.2	熱エネルギー変換システム学(環境)
Sendy Dwiki (2)	資源処理・環境修復工学(資源)	応用地質(資源)	岩盤開発・機械システム工学(資源)

量子:総合理工学府量子プロセス理工学専攻, 物質:同物質理工学専攻, 環境:同環境エネルギー工学専攻, 先端:同先端エネルギー理工学専攻, 資源:工学府地球資源システム工学専攻, GA:グリーンアジア国際リーダー教育センター, 工学:資源以外の工学府, 理学:理学府, 芸術工学:芸術工学府

2.6. シンポジウム, フォーラム

(1) アフタヌーンコロキウム

アフタヌーンコロキウムとは, 主に金曜日の午後にコース生および関連教員が集い, 提題者が提供する話題を巡って討論する場である。講義や演習の形式を採ることにはこだわらずに, より自由な雰囲気でも教員も学生も同等の立場に立って, 多方面から提供される話題に関して討論する。コロキウムで取り上げられる話題は「環境」「アジア」「国際化」「学